



各位

上場会社名 平安レイサーサービス株式会社
 代表取締役社長 相馬 秀行
 (コード番号 2344)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 片野 洋
 (TEL 0463-34-2771)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年11月8日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,992	1,244	1,382	763	53.30
今回発表予想(B)	9,015	1,430	1,615	875	61.38
増減額(B-A)	23	186	233	112	
増減率(%)	0.3	15.0	16.9	14.7	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	8,464	1,116	1,283	720	50.30

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,000	1,094	1,220	668	46.67
今回発表予想(B)	8,060	1,250	1,415	790	55.42
増減額(B-A)	60	156	195	122	
増減率(%)	0.8	14.3	16.0	18.3	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	7,534	957	1,071	644	45.00

修正の理由

葬祭施行単価は会葬者数の減少傾向に伴い低下したものの、営業エリアにおける死亡人口伸び率が前年同期に比べ増加いたしました。また、前期に新規開業した施設が通年稼働したこと、新商品・新サービスの提案を行い、既存大型施設での施行規模に応じたレイアウトや料金プランを提供できるようサービスのラインナップ充実に努めシェア率が増加したことにより、葬祭施行件数は前年同期に比べ増加することが予想されるため、連結、個別ともに通期売上高は前回予想に対して微増となる見通しであります。

コスト面におきましては、小規模・邸宅型の施設展開、外注業務の一部内製化、広告宣伝費の効率的運用などローコストオペレーションと水道光熱費の低減策の実施など各種コストの見直しが奏功し、利益率が前期に比較して改善される見通しであります。

以上から連結営業利益は1,430百万円(前回予想比15.0%増)、連結経常利益は1,615百万円(同16.9%増)、連結当期純利益875百万円(同14.7%増)となる見込みであります。個別業績予想も同様の理由により、営業利益は1,250百万円(前回予想比14.3%増)、経常利益は1,415百万円(同16.0%増)、当期純利益790百万円(同18.3%増)となる見通しであります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成22年11月8日発表)	—	8.00	—	8.00	16.00
今回修正予想	—	8.00	—	9.00	17.00
当期実績	—	8.00	—		
前期(平成22年3月期)実績	—	8.00	—	8.00	16.00

修正の理由

当社は、株主を重視した経営を実現するため、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しております。株主の皆様への利益還元は、業績に応じた安定的な配当を維持することを最優先として、その上で、企業体質の強化と株主資本利益率の向上に努めております。

平成23年3月期の期末配当予想につきましては、以上の基本方針に基づき、通期業績予想や財務状況等を総合的に勘案し、慎重に検討させていただいた結果、当期末の1株当たり配当金は9円とさせていただく予定であります。これにより、1株当たり年間配当金につきましては、当第2四半期末の1株当たり配当金8円と合わせて、17円となる予定であります。

* 上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上